

COVID-19対策下でのしかりべつ湖コタンの開催

Holding of event the Lake Shikaribetsu Igloo Village under COVID-19 measures

*金森 晶作¹、松本 宏樹¹、大西 潤¹

*Kanamori Syosaku¹, Hiroki Matsumoto¹, Onishi Jun¹

1. とかち鹿追ジオパーク推進協議会

1. Tokachi-Shikaoi Geopark Promotion Council

とかち鹿追ジオパークは、北海道十勝地方にある鹿追町全域を対象エリアとしたジオパークである。「火山と凍れ（しばれ）が育む命の物語」をテーマとし、寒冷な気候と関連するサイトが複数存在する。鹿追町北部にある然別湖は、とかち鹿追ジオパークの代表的なサイトで、冬季に全面結氷する。この然別湖では、1980年より冬季に「しかりべつ湖コタン」と題した催しが開催されてきた。コタンはアイヌ語で村・集落を意味し、凍結した然別湖上に村が出現する。このイベントでは、氷と雪を使ってイグルーと呼ぶ多数の建造物をつくり、アイスバーや氷上露天風呂、コンサートなどが開催される。この「しかりべつ湖コタン」も、とかち鹿追ジオパークの重要なサイトである。

2021年の「しかりべつ湖コタン」は、国内の多数の催しがコロナ禍の影響で中止となるなか、COVID-19対策を徹底した上で、2021年1月30日から約2ヶ月間の会期で開幕した。本発表では、COVID-19対策下でのイベントの実際について報告し、COVID-19影響下でのイベントのあり方について議論する。

キーワード：新型コロナウイルス感染症、ジオパーク

Keywords: COVID-19, geopark